



地域経済動向調査 8月

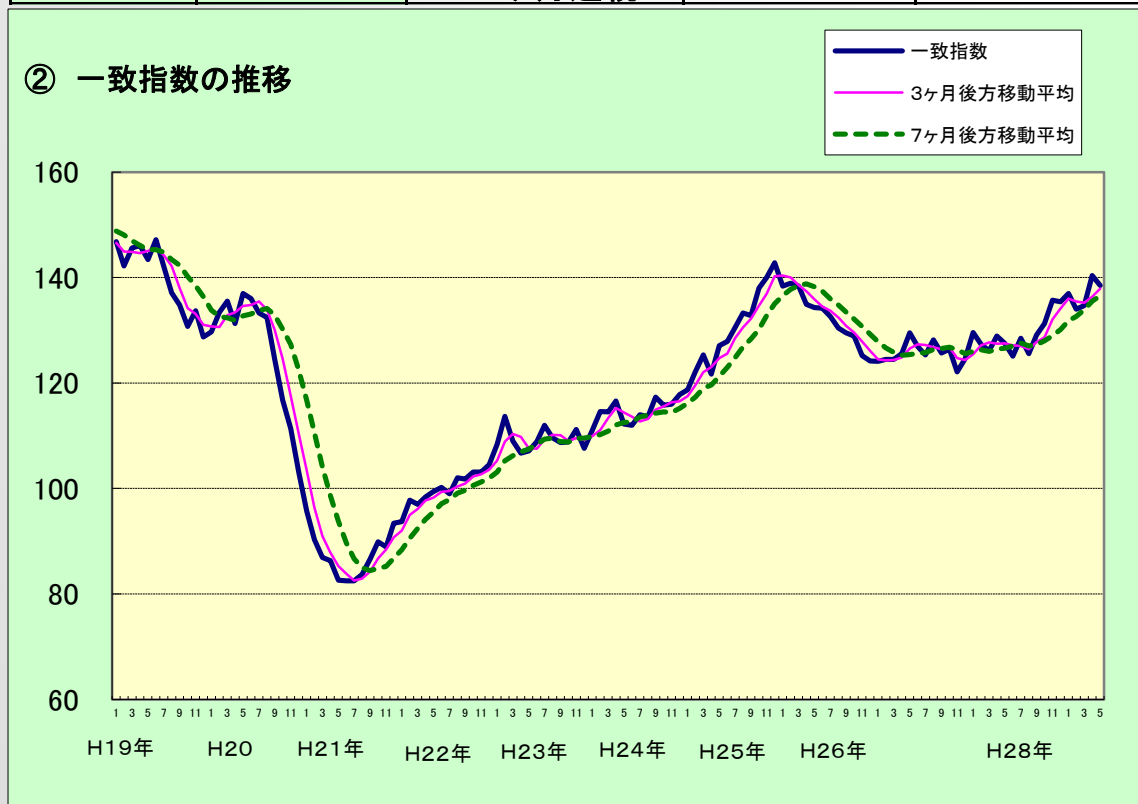
黒滝村商工会
下市町商工会
天川村商工会

目次

1. 奈良県のCI、一致指数	3
2. 個人消費：百貨店・スーパー販売額・乗用車販売台数	4
3. 生産：観光	5
3. 生産：生産	6
3. 生産：設備投資	7
4. 雇用：雇用情勢	8
5. 景気：倒産	9
6. 8月の特集 100の指標からみた奈良県勢	10—19

1. 一致CIの動向（知事公室統計課）

		当月	3ヶ月後方移動平均	7ヶ月後方移動平均
先行指数	指数	91.9	88.8	100.2
	前月差(ポイント)	5.1	▲ 4.7	▲ 2.5
	動向	5ヶ月ぶり+	11ヶ月連続-	12ヶ月連続-
一致指数	指数	138.5	137.9	136.5
	前月差(ポイント)	▲ 1.9	1.5	1.0
	動向	3ヶ月ぶり-	2ヶ月連続+	9ヶ月連続+
遅行指数	指数	101.6	100.4	98.4
	前月差(ポイント)	1.6	1.0	1.0
	動向	7ヶ月連続+	6ヶ月連続+	5ヶ月連続+



① 奈良県の5月の一致指数は138.5で、前月を1.9ポイント下回り、3ヶ月ぶりのマイナスとなった。

ただし、先行指数は91.9で5カ月ぶりにプラスとなっている。

一致指数のマイナスの主な要因は鉱工業生産指数と稼働率指数がマイナスになったためである。

先行指数のプラスの主な要因は新規求人倍率の増加と製材用素材在庫率が低下したためである。

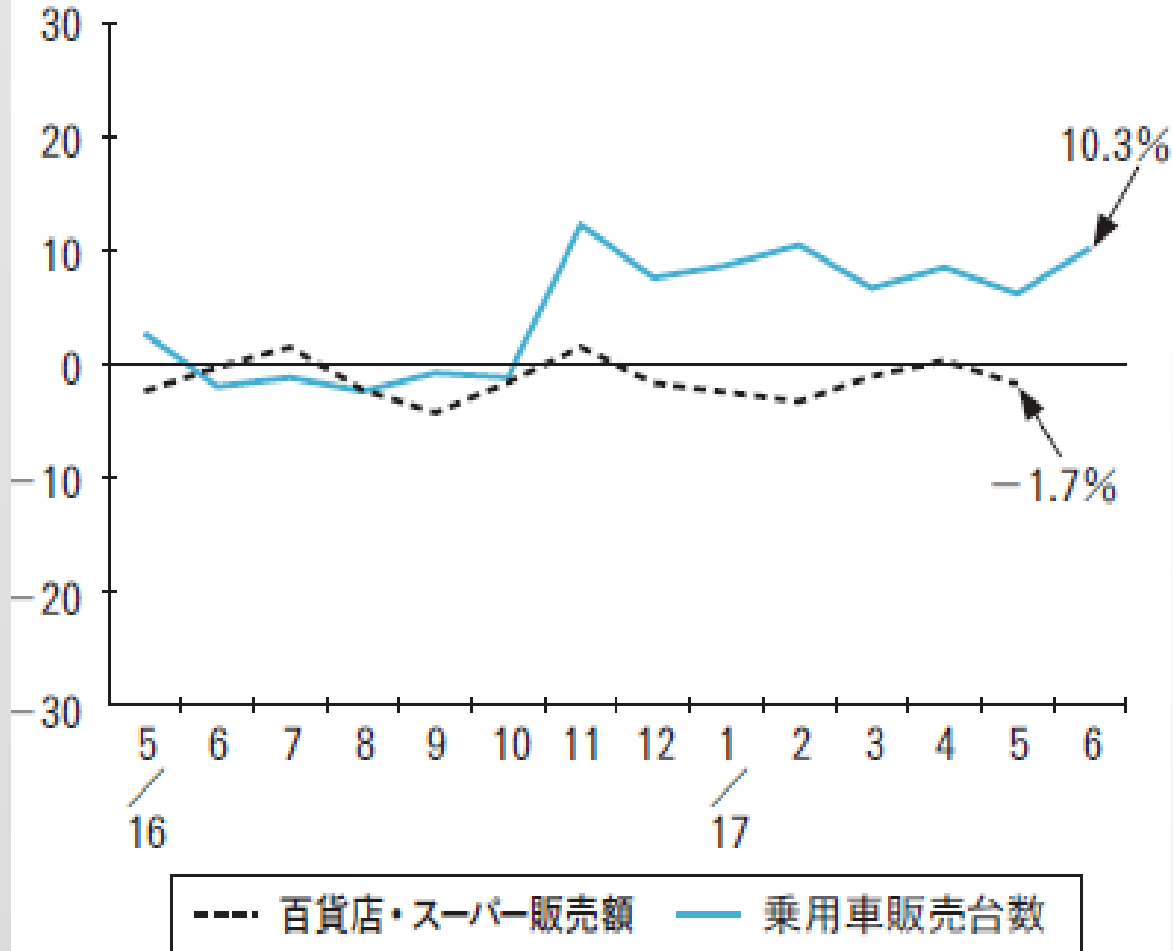
現状、奈良県の景気動向指数は「改善」していると言える。

2. 個人消費：百貨店・スーパー販売額・乗用車販売台数（南都

経済研究所、経済産業省等）

百貨店・スーパー販売額、乗用車販売台数（前年同月比）

(%)（出所 経済産業省、奈良運輸支局、奈良県軽自動車協会）



① 5月の百貨店・スーパー販売額は、1.7%減の182億円で、2カ月ぶりのマイナスに転じた。既存店ベースでは3.1%減で6カ月連続でマイナスとなっており、良いとは言えない。

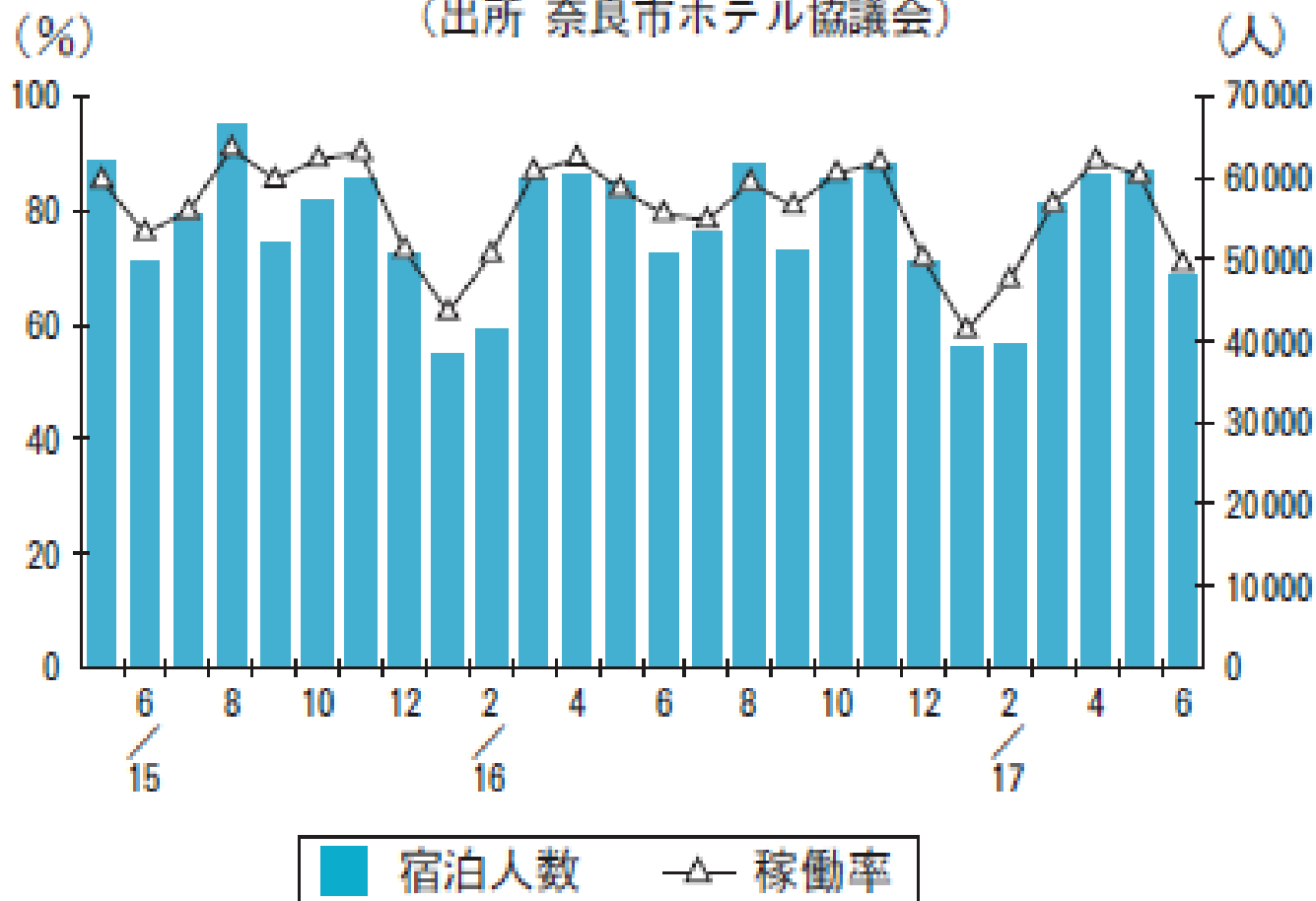
②内容的には衣料品は▲6.4%で、飲食料品が0.4%増であり、引き続き衣服に対する出費を控えていることがわかる。

③乗用車販売台数は、10.3%増の4,067台で8カ月連続の増加となっている。

3. 生産：観光 (南都経済研究所)

奈良市および周辺主要ホテル9社の客室稼働率・宿泊人数

(出所 奈良市ホテル協議会)

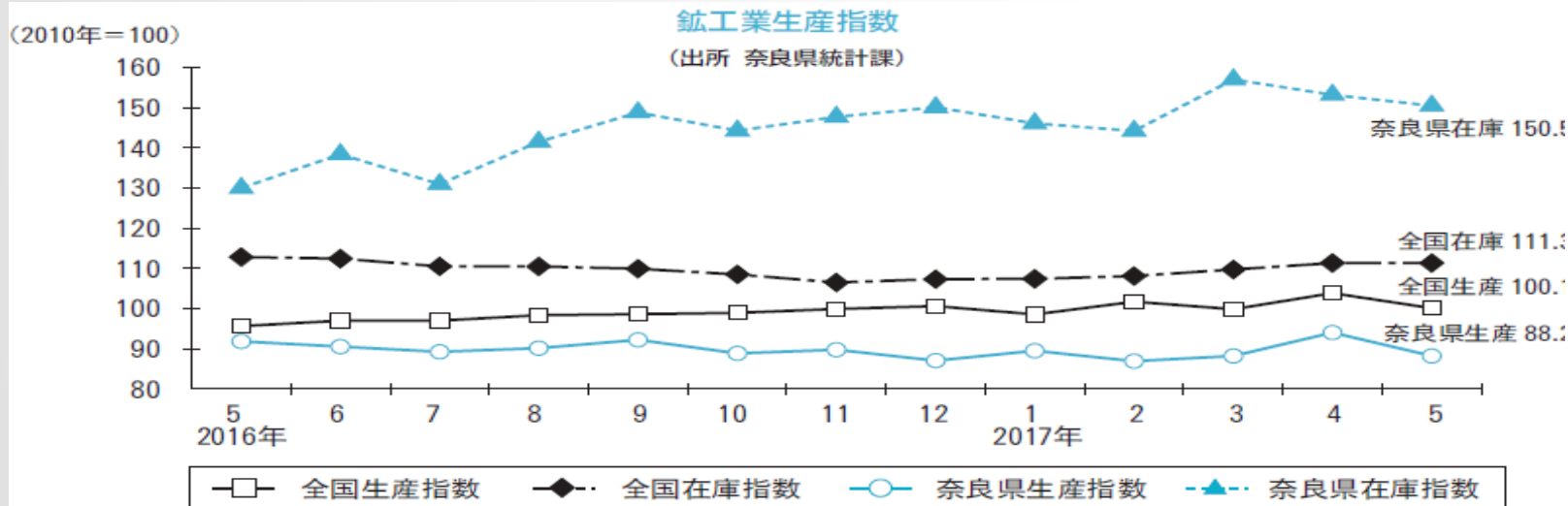


6月の客室稼働率は、75%と前年同月比で4.4%低下した。稼働率の低下が一時的なものか見極める必要がある。

宿泊人数も48,085人と前年同月比5.4%低下した。

奈良市、奈良市観光協会、JR西日本、近鉄等が共同で7月～9月に「なつの奈良旅キャンペーン2017『わたし咲く、なつの奈良』」として体験コンテンツの拡大に重点をおいて、「奈良若草山夜景観賞バス」やなら公園内での「なつの鹿寄せ」等の企画を実施している。

3. 生産：生産 (南都経済研究所、奈良県知事公室統計課)



奈良県鉱工業生産指数、在庫指数の業種別の動き (5月)

(注) 生産系列の総合指数(季節調整済指数)で上昇・低下に寄与した業種の順番で掲載している。前月比、前年同月比は(%)

業 種 名	生 産			在 庫			
	季節調整済指数		原 指 数	季節調整済指数		原 指 数	
	前月比	指 数	前年同月比	前月比	指 数	前年同月比	
上 昇	一 般 機 械	14.1	107.4	6.2	▲9.6	225.1	20.1
	印 刷 業	4.2	164.6	▲9.1	—	—	—
	そ の 他 製 品	3.0	125.1	1.0	x	x	x
	プラスチック製品	0.8	89.0	4.8	10.2	85.1	▲16.2
低	輸 送 機 械	▲18.4	99.2	4.8	—	—	—
	電 気 機 械	▲66.3	5.8	▲84.1	▲42.9	4.0	▲65.3
	金 属 製 品	▲14.9	108.3	14.7	4.9	92.4	18.0
	食 料 品 ・ た ば こ	▲4.0	94.3	▲4.1	2.1	123.8	▲4.8
	化 学 工 業	▲6.0	123.7	▲4.9	▲11.5	95.4	▲21.3
	織 維 工 業	▲11.2	76.2	▲8.8	0.4	106.1	5.6
	窯 業 ・ 土 石 製 品	▲10.8	100.3	32.8	▲6.0	39.4	▲29.6
	ゴ ム 製 品	▲4.4	77.6	11.3	▲0.7	107.5	26.3
	非 鉄 金 属	▲7.1	76.7	7.2	1.9	90.9	5.2
	パ ル プ ・ 紙 ・ 紙 加 工 品	▲2.1	122.7	9.4	8.8	212.3	16.8
	木 材 ・ 木 製 品	▲90.4	85.5	▲2.7	1.3	122.0	6.6
下	皮 革 製 品	▲13.9	55.7	▲19.1	▲1.6	106.0	1.9
	鉄 鋼 業	▲2.6	91.5	7.2	3.5	131.4	▲10.7

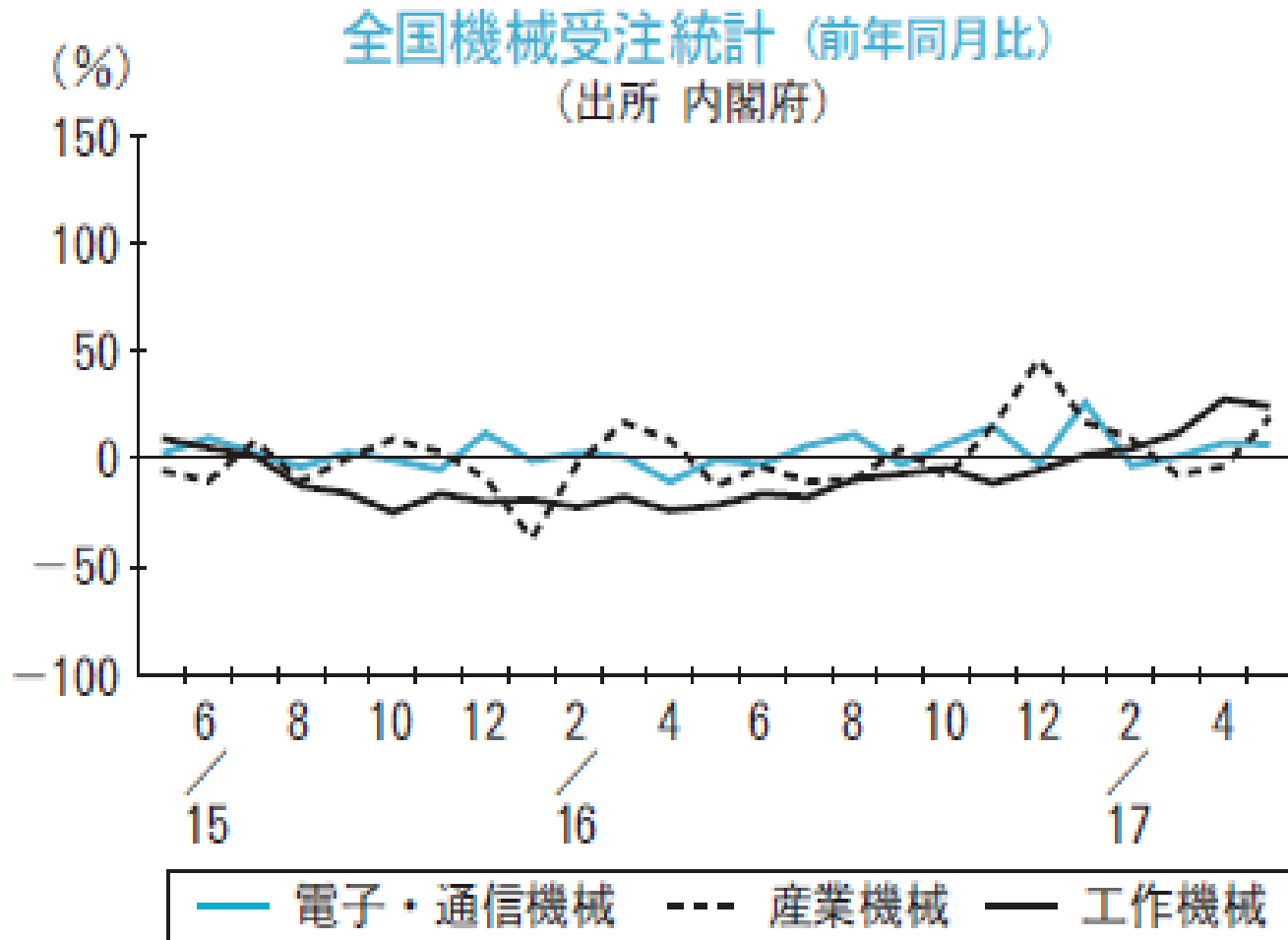
(注) x：対象企業が少いため公表されていない。

① 5月の鉱工業生産指数は、88.2と前月比6.2%減で3カ月ぶりに低下した。なお、2010年を100としている。

② 在庫指数も150.5で前月比1.8%低下し、2カ月連続の低下となった。在庫は減少したほうが、売れていることを示す。

③ 業種別に見てみると、木材・木製品は前月比、前年同月比ともにマイナスになっている。上向いている業種は、一般機械等4業種のみで、13業種が悪化している。

3. 生産：設備投資 (内閣府、南都経済研究所)

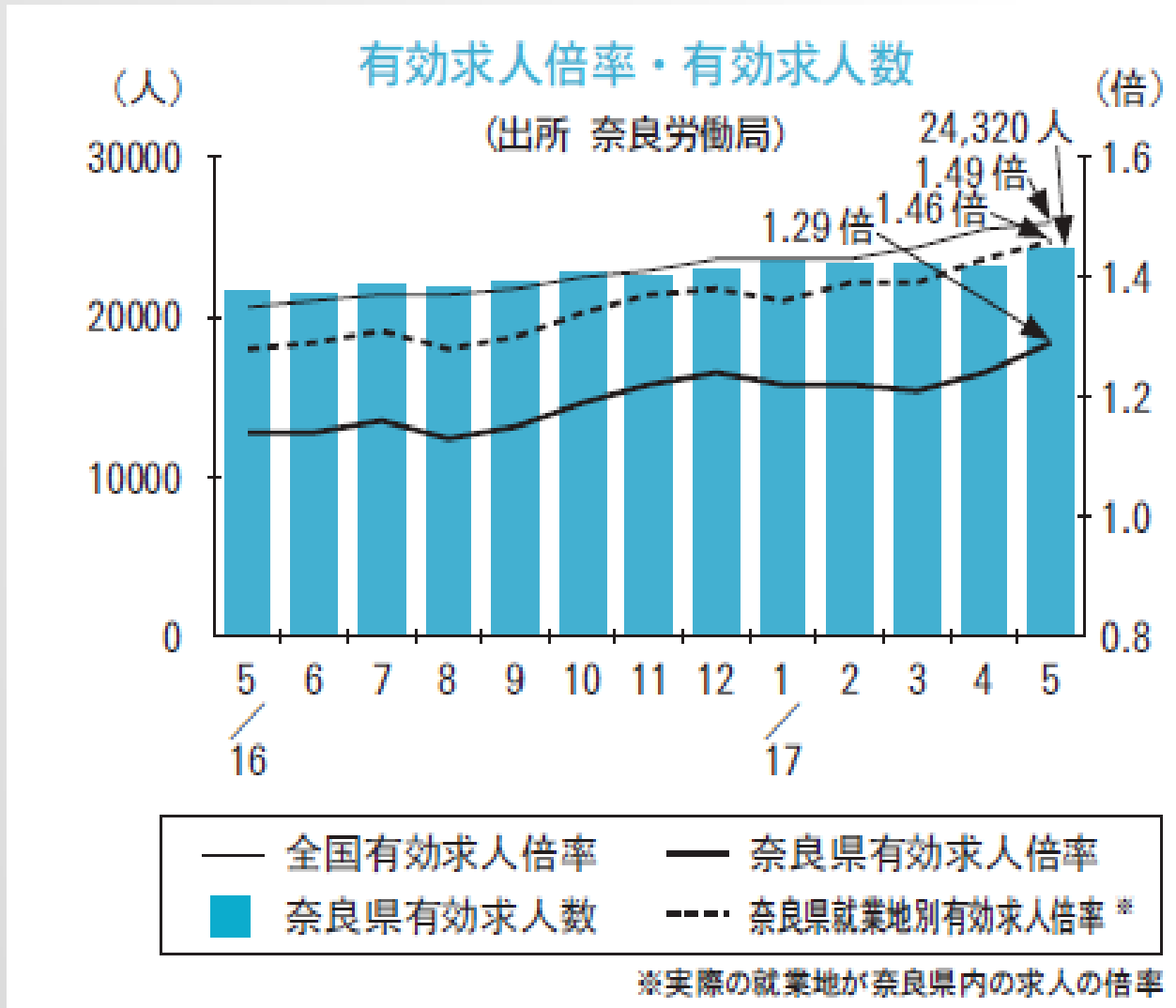


①全国の5月の工作機械は前年同月比24.2%の増加、産業機械も2カ月ぶりに19.2%増加した。

②奈良県工業指数 (2010年 = 100) を見ると、一般機械工業は6.2%増加の97.2となっている。

③奈良県内の生産・出荷は大きな動きはなく、概ね前年並みか、やや増加圏内で推移している。

4. 雇用：雇用情勢 (南都経済研究所、奈良労働局)



① 5月の新規求人数は9,354人で、前年同月比13.5%増と、2カ月連続で増加している。

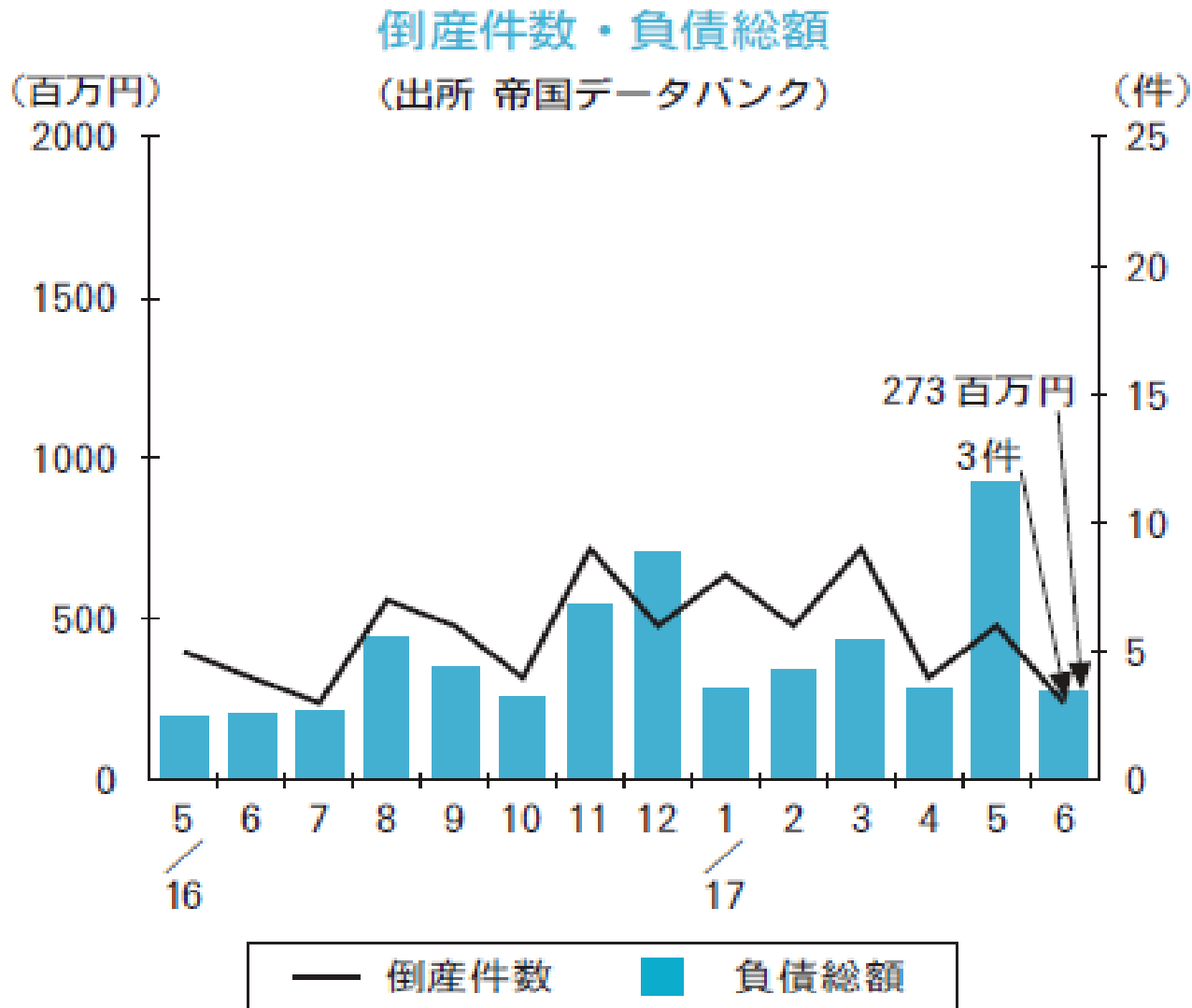
② 有効求人数も24,320人で前年同月比9.6%増と、25カ月連続で増加している。

③ 一方で、新規求職者数は4,337人で前年同月比4.8%減と3カ月ぶりに減少している。

④ また、有効求職者数は18,888人で前年同月比3.3%減で、17カ月連続で減少している。

引き続き、採用環境は厳しく、採用は難しくなっている。

5. 倒産 (南都経済研究所、帝国データバンク)



①6月の倒産件数は、3件で17カ月連続で一桁台で推移している。

②負債総額は273百万円となっている。倒産原因は、全ての倒産が、競争激化や消費動向の停滞などを背景とした販売不振である。

引き続き倒産件数は低位で推移している。その要因の一つとして、円滑化法の問題に則ったリスケ等に対する金融機関の柔軟な対応があると考えられる。

6. 8月の特集：100の指標からみた奈良県勢（平成28年知事公室統計課）

3 林野面積			
市 町 村 名	順位	林野面積（ha）	
十 津 川 村	1	64,548	
上 北 山 村	2	26,500	
川 上 村	3	25,579	
五 條 市	4	21,750	
宇 陀 市	5	18,330	
天 川 村	6	17,151	
野 迫 川 村	7	15,033	
奈 良 市	8	13,292	
東 吉 野 村	9	12,602	
下 北 山 村	10	12,275	
吉 野 町	11	7,944	
御 杖 村	12	7,082	
桜 井 市	13	5,933	
下 市 町	14	4,891	
黒 滝 村	15	4,610	
曾 爾 村	16	4,132	
山 添 村	17	4,113	
天 理 市	18	3,404	
御 所 市	19	3,134	
大 淀 町	20	1,975	

今月は、いろいろな統計資料から、奈良県における黒滝村、下市町、天川村の特色を分析した。

（1）林野面積

天川村が6位、下市町が14位、黒滝村が15位といずれも39市町村のうち上位にランクされている。

潜在的な供給力は認められる。

6. 8月の特集：100の指標からみた奈良県勢（平成28年知事公室統計課）

4 宅地面積			
市町村名	順位	宅地面積 (評価総地積)(㎡)	
奈良市	1	33,685,819	
橿原市	2	11,304,434	
生駒市	3	10,715,437	
大和郡山	4	10,053,690	
天理市	5	7,579,968	
桜井市	6	7,126,707	
香芝市	7	7,103,902	
大和高田	8	6,038,991	
五條市	9	6,029,309	
宇陀市	10	5,109,933	
御所市	11	5,035,730	
葛城市	12	4,815,850	
広陵町	13	4,225,190	
大原町	14	4,078,147	
大淀町	15	3,332,786	
斑鳩町	16	2,769,370	
平群町	17	2,356,460	
三郷町	18	2,091,706	
河合町	19	2,007,197	
上牧町	20	1,956,939	
王寺町	21	1,886,508	
吉野町	22	1,621,017	
川西町	23	1,291,224	
高山町	24	1,226,761	
山添村	25	1,035,383	
下市町	26	1,015,909	
安堵町	27	985,863	
三宅町	28	941,333	
明日香村	29	940,742	
御杖村	30	649,038	
東吉野村	31	603,741	
十津川村	32	541,546	
天川村	33	446,879	
下北山村	34	393,943	
曾爾村	35	389,710	
川上村	36	353,932	
黒滝村	37	223,310	
野迫川村	38	127,161	
上北山村	39	119,301	
県		152,210,866	

(2) 宅地面積

宅地面積は、下市町が26位、天川村が33位、黒滝村が37位と下位にランクされる。

林野面積と比較すると、決して高いランクとは言い難い。

原因は、人口の減少による需要の減少が考えられる。

6. 8月の特集：100の指標からみた奈良県勢（平成28年知事公室統計課）

6 総世帯数					
市	町	村	名	順位	総世帯数（世帯）
奈	良	市	市	1	149,274
糧	原	市	市	2	49,863
生	駒	市	市	3	45,597
大	和	郡	山	4	34,149
香	芝	市	市	5	27,777
天	理	市	市	6	25,725
大	和	高	田	7	25,604
桜	井	市	市	8	21,648
葛	城	市	市	9	12,546
田	原	本	町	10	11,468
五	條	市	市	11	11,171
宇	陀	市	市	12	11,145
広	陵	町	町	13	11,017
御	所	市	市	14	10,416
斑	鳩	町	町	15	10,330
王	寺	町	町	16	9,292
三	郷	町	町	17	9,148
上	牧	町	町	18	8,156
平	群	町	町	19	7,105
河	合	町	町	20	6,713
大	淀	町	町	21	6,524
川	西	町	町	22	3,233
吉	野	町	町	23	2,939
安	堵	町	町	24	2,872
三	宅	町	町	25	2,628
高	取	町	町	26	2,395
下	市	町	町	27	2,237
明	日	香	村	28	1,779
十	津	川	村	29	1,577
山	添	村	村	30	1,144
東	吉	野	村	31	829
御	杖	村	村	32	748
川	上	村	村	33	683
曾	爾	村	村	34	644
天	川	村	村	35	624
下	北	山	村	36	517
黒	滝	村	村	37	311
上	北	山	村	38	270
野	迫	川	村	39	227
県					530,325

（3）総世帯数

下市町が27位（2,237世帯）、天川村が35位（624世帯）、黒滝村が37位（311世帯）と下位にランクされる。

また、総人口も下市町27位（5,662人）、天川村34位（1,353人）、黒滝村37位（655人）と下位にランクされる。

1世帯当たり平均で、下市町2.53人、天川村2.17人、黒滝村2.11人となっている。

6. 8月の特集：100の指標からみた奈良県勢（平成28年知事公室統計課）

8 人口増加率					
市	町	村	名	順位	人口増加率（％）
王	寺	町		1	3.9
香	芝	市		2	3.2
葛	城	市		3	2.2
広	陵	町		4	1.4
三	郷	町		5	0.4
生	駒	市		6	0.2
櫃	原	市		7	△ 1.2
田	原	本	町	8	△ 1.3
斑	鳩	町		9	△ 1.5
奈	良	市		10	△ 1.7
川	西	町		11	△ 1.8
大	和	郡	山	12	△ 2.1
天	理	市		13	△ 2.5
県					△ 2.6
河	合	町		14	△ 3.2
平	群	町		15	△ 4.2
桜	井	市		16	△ 4.8
大	和	高	田	17	△ 5.3
明	日	香	村	18	△ 5.6
大	淀	町		19	△ 5.8
安	堵	町		20	△ 6.1
高	取	町		20	△ 6.1
上	牧	町		22	△ 6.9
三	宅	町		23	△ 8.1
宇	陀	市		24	△ 9.1
五	條	市		25	△ 10.0
山	添	村		26	△ 10.5
御	所	市		27	△ 11.2
天	川	村		28	△ 13.9
下	北	山	村	29	△ 14.1
野	迫	川	村	30	△ 14.3
吉	野	町		31	△ 14.4
十	津	川	村	32	△ 14.6
御	杖	村		33	△ 16.4
曾	爾	村		34	△ 18.3
東	吉	野	村	35	△ 18.6
下	市	町		36	△ 19.3
川	上	村		37	△ 19.7
黒	滝	村		38	△ 22.0
上	北	山	村	39	△ 25.3

（４）人口増加率（5年毎で集計しており、平成22年と平成27年とで比較している）

天川村28位（△13.9％）、

下市町36位（△19.3％）、黒滝村38位（△22.0％）となっている。

いずれも大幅に人口が減少している。改めて、如何にして人口減少を食い止めるかが、共通の課題と言える。

6. 8月の特集：100の指標からみた奈良県勢（平成28年知事公室統計課）

12 平均年齢			
市 町 村 名	順位	平均年齢（歳）	
川上村	1	63.25	
御杖村	2	61.01	
東吉野村	3	60.91	
上北山村	4	59.38	
黒滝村	5	58.90	
天川村	6	57.94	
野迫川村	7	57.83	
曾爾村	8	57.77	
下北山村	9	57.27	
吉野町	10	56.89	
十津川村	11	55.67	
山下村	12	55.40	
下市町	13	55.26	
御所市	14	51.87	
宇陀市	15	51.84	
明日香村	16	51.72	
高取町	17	51.00	
五條市	18	50.45	
河合町	19	50.21	
平群町	20	50.10	
三宅町	21	49.77	
安堵町	22	48.73	
川上町	23	48.09	
大西町	23	48.09	
大淀町	23	48.09	
大和郡山	26	47.42	
大和高田	27	47.40	
奈良市	28	47.24	
桜井市	29	47.15	
奈良県			
田原本町	30	46.86	
三郷町	31	46.74	
斑鳩町	32	46.63	
王寺町	33	45.81	
橿原市	34	45.47	
生駒市	35	45.12	
葛城市	36	44.80	
広陵町	37	43.89	
天理市	38	43.66	
香芝市	39	42.37	

（5）平均年齢

黒滝村5位（58.90歳）、天川村6位（57.94歳）、下市町13位（55.26歳）となっている。上位ほど平均年齢が高いことを意味する。

いずれも平均年齢は55歳を上回っており、奈良県の平均が46.94歳であることから、高齢化が進んでいると言える。

6. 8月の特集：100の指標からみた奈良県勢（平成28年知事公室統計課）

（6）林業経営体数

下市町11位（38体数）、黒滝村19位（14体数）、天川村21位（11体数）となっている。

林野面積と比較すると、多いとは言えない。

18 林業経営体数					
市	町	村	名	順位	林業経営体数
宇	陀	市		1	273
奈	良	市		2	187
十	津	村	川	3	151
五	條	市		4	98
曾	爾	村		5	88
吉	野	町		6	78
山	添	村		7	76
桜	井	市		8	73
御	杖	村		9	52
川	上	村		10	40
下	市	町		11	38
橿	原	市		12	37
天	理	市		13	24
明	日	村	香	14	22
東	吉	村	野	15	21
御	所	市		16	17
下	北	村	山	17	16
上	北	村	山	18	15
黒	滝	村		19	14
大	淀	町		20	12
天	川	村		21	11
高	取	町		22	9
香	芝	市		23	8
葛	城	市		23	8
野	迫	村	川	25	7
大	和	市	郡山	26	4
河	合	町		26	4
大	和	市	高田	28	3
生	駒	市		28	3
田	原	町	本	28	3
広	陵	町		28	3
斑	鳩	町		32	1
安	堵	町		32	1
川	西	町		32	1
三	宅	町		32	1
王	寺	町		32	1
平	群	町		—	—
三	郷	町		—	—
上	牧	町		—	—
県					1,400

6. 8月の特集：100の指標からみた奈良県勢（平成28年知事公室統計課）

（7）製造業事業所数

下市町21位（22事業所）、
天川村34位（4事業所）、黒滝
村37位（2事業所）となってい
る。

いずれも下位に位置する。

20 製造業事業所数					
市	町	村	名	順位	製造事業所数（所）
奈		良	市	1	218
大	和	高	田	2	150
大	和	郡	山	3	147
橿		原	市	4	145
桜		井	市	5	133
天		理	市	6	119
葛		城	市	6	119
広		陵	町	8	115
生		駒	市	9	109
香		芝	市	10	102
御		所	市	11	98
田	原	本	町	12	81
五		條	市	13	79
吉		野	町	14	55
宇		陀	市	15	45
斑		鳩	町	16	39
大		淀	町	17	36
川		西	町	18	34
三		宅	町	19	24
河		合	町	19	24
下		市	町	21	22
山		添	村	22	21
高		取	町	23	20
安		堵	町	24	17
三		郷	町	25	16
平		群	町	26	15
明	日	香	村	26	15
玉		寺	町	26	15
東	吉	野	村	26	15
上		牧	町	30	11
川		上	村	31	8
曾		爾	村	32	7
御		杖	村	32	7
天		川	村	34	4
十	津	川	村	34	4
上	北	山	村	36	3
黒		滝	村	37	2
下	北	山	村	37	2
野	迫	川	村	39	1
県					2,077

6. 8月の特集：100の指標からみた奈良県勢（平成28年知事公室統計課）

22 卸・小売業事業所数			
市 町 村 名	順位	卸・小売業事業所数 (所)	
奈良市	1	2,112	
橿原市	2	967	
和歌山市	3	692	
大和高田	4	556	
天理市	5	548	
生駒市	6	525	
桜井市	7	519	
五條市	8	343	
香芝市	9	318	
宇陀市	10	284	
田原町	11	262	
御所市	12	234	
葛城市	13	213	
広陵町	14	183	
大淀町	15	172	
王寺町	16	167	
吉野町	17	164	
斑鳩町	18	142	
上牧町	19	104	
河合町	20	90	
高取町	21	83	
平群町	22	76	
下市町	23	75	
三天町	24	74	
天川村	25	58	
明日香村	26	50	
十津川村	27	47	
山田町	28	46	
三宅村	29	45	
三宅町	30	39	
御杖村	31	27	
安堵町	32	25	
曾爾村	32	25	
川上村	34	24	
東吉野村	35	17	
黒滝村	36	16	
下北山村	37	11	
上北山村	38	10	
野迫川村	39	8	
県		9,351	

（8）卸・小売事業所数

下市町23位（75事業所）、天川村25位（58事業所）、黒滝村36位（16事業所）となっている。

人口のランクと比べて、天川村のランクが高いことがわかる。

6. 8月の特集：100の指標からみた奈良県勢（平成28年知事公室統計課）

27 産業別就業構造（第3次産業）				
市町村名	順位	第3次産業 就業者の割合（%）		
天川村	1	76.69		
生駒市	2	75.27		
奈良市	3	74.91		
王寺町	4	74.20		
三郷町	5	72.90		
河合町	6	71.91		
下北山	7	71.73		
天平	8	70.62		
奈良	9	70.46		
桜井市	10	70.16		
橿原市	11	69.64		
大淀町	11	69.42		
斑鳩町	13	69.42		
上牧町	14	69.33		
大和	15	68.74		
高田	15	67.77		
香芝	16	67.74		
広陵	17	67.74		
明日香	18	67.72		
大和郡	18	67.49		
山	19	67.40		
宇陀	20	67.40		
川西	20	66.03		
田原	21	65.50		
津本	22	65.47		
安堵	23	65.47		
御所	24	65.31		
黒滝	25	64.84		
高取	25	64.63		
北上	26	64.31		
下市	27	64.31		
三宅	28	63.80		
吉野	29	63.35		
葛城	30	63.35		
川上	31	63.09		
五條	32	62.80		
曾爾	33	62.80		
吉野	34	62.40		
東吉野	35	62.40		
御杖	36	61.21		
山添	37	61.21		
野添	38	60.77		
迫川	39	60.77		
迫川	39	58.84		
迫川	39	57.45		
迫川	39	57.19		
迫川	39	56.16		
迫川	39	50.75		
迫川	39	49.81		

（9）第3次産業

天川村1位（76.69%）、黒滝村26位（64.31%）、下市町29位（63.09%）となっており、天川村の高さが目立つ。

天川村は観光事業を中心として、第3次産業が発展している。

6. 8月の特集：100の指標からみた奈良県勢 (平成28年知事公室統計課)

26 産業別就業構造 (第2次産業)				
市町村名	順位	第2次産業就業者の割合 (%)		
吉野町	1	33.21		
三宅町	2	31.02		
東吉野村	3	30.70		
安堵町	4	30.50		
川西町	5	30.26		
葛城市	6	30.15		
大和高田市	7	29.62		
御所市	8	29.60		
上山北山村	9	29.50		
山添村	10	28.29		
川上村	11	28.14		
野迫川村	12	27.41		
広陵町	13	27.27		
大淀町	14	26.97		
香芝市	15	26.83		
田原本町	16	26.45		
御杖村	17	26.21		
桜井市	18	26.15		
大和郡山	19	25.84		
高取町	20	25.26		
上牧町	21	25.13		
黒滝村	22	24.78		
下市町	23	24.71		
五十條市	24	24.40		
五十津川村	25	24.31		
斑鳩町	26	24.26		
曾爾村	27	24.12		
河合町	28	23.64		
三郷町	29	23.56		
王寺町	30	23.13		
県		23.05		
橿原市	31	22.97		
宇陀市	32	22.46		
平群町	33	21.90		
下北山村	34	21.50		
明日香村	35	20.92		
生駒市	36	20.81		
天理市	37	19.79		
奈良市	38	18.00		
天川村	39	15.03		

(10) 第2次産業

黒滝村22位 (24.78%)、下市町23位 (24.71%)、天川村39位 (15.03%) となっている。

天川村は、第3次産業と反比例となっている。